

# Adobe Acrobat Reader 5.1 ヘルプ

---

このヘルプファイルには、Adobe® Acrobat® Reader® 5.1 を使用して PDF ファイルを開いたり、文書内を移動したり、印刷したりするために必要となる基本的な情報が記載されています。次のリンクをクリックすると、さらに詳しい情報が記載されたフルバージョンの Acrobat Reader ヘルプをダウンロードおよびインストールできます。フルバージョンのヘルプをダウンロードするには、インターネットに接続する必要があります。

フルバージョンの Acrobat Reader ヘルプをダウンロードおよびインストールするには、[ここをクリック](#)してください。

## 目次

[Acrobat Reader 5.1 の新機能](#)

[PDF 文書の開き方](#)

[作業エリアでの操作](#)

[PDF 文書の印刷](#)

[よくある質問](#)

## Acrobat Reader 5.1 の新機能

新機能および強化された機能を搭載した Acrobat Reader 5.1 は、Adobe Portable Document Format (PDF) ファイルの表示、ナビゲート、閲覧および印刷を行うための必須ツールです。

**文書の権限** Adobe Acrobat Reader 5.1 では、追加機能の使用が許可された PDF 文書を開いた場合のみに使用できるいくつかの機能が搭載されました。これらの機能には、「文書の保存」、「フォーム機能」、「注釈」および「電子署名」が含まれます。どの追加機能の使用を許可するかは、PDF 文書の作成者によって決定されます。追加機能の使用が許可された文書を開くと、文書の権限ダイアログボックスでどの機能が使用可能であるかが表示され、PDF 文書の作成者による説明が表示されます。

**電子署名の検証** 電子署名付きの PDF 文書が送られてきた場合は、Acrobat Reader で表示、印刷および署名の検証を行うことができます。

**添付ファイルの表示** PDF 文書の作成者によってファイルまたはマルチメディアクリップなどが PDF に添付されていた場合、Acrobat Reader でそれらを開くことができます。

**PDF ファイルを電子メールで送信** Acrobat Reader から PDF 文書を添付した電子メールメッセージを送信することができます。

これらの新機能について詳しくは、フルバージョンの Acrobat Reader ヘルプを参照してください。

## PDF 文書の開き方

PDF 文書は、電子メールアプリケーションやファイルシステムから開いたり、Acrobat Reader でファイル／開くを選択して開くことができます。PDF 文書の表示形式は、各 PDF 文書の作成者による設定によって異なります。例えば、文書を開いたときに特定のページが表示されたり、特定の倍率で表示されたりします。

### PDF 文書を開くには：

1 次のいずれかの操作を行います。

- ファイル／印刷を選択します。ファイルを開くダイアログボックスで、1 つまたは複数のファイル名を選択して「開く」をクリックします。PDF 文書には、通常、.pdf 拡張子が付いています。
- ファイルメニューで開きたい文書のファイル名を選択します。メニューには、最近開いた PDF 文書が一覧表示されます。
- ファイルシステムまたは Web ブラウザで PDF ファイルアイコンをダブルクリックします。
- 電子メールアプリケーションから PDF ファイルを開きます。

2 文書の権限ダイアログボックスが表示されたら、その PDF 文書には注釈および電子署名などの使用権限が追加設定されています。PDF の作成者の指示を読んでから、「OK」をクリックします。これらの機能の使用法について詳しくは、フルバージョンの Acrobat Reader ヘルプを参照してください。

## 作業エリアでの操作

Acrobat Reader ウィンドウの右側の領域には PDF 文書が表示される文書ウィンドウがあります。左側の領域には、現在開いている PDF 文書のブラウザに便利なナビゲーションパレットウィンドウがあります。また、ウィンドウ上部のツールバーおよびウィンドウ下部のステータスバーにも、PDF 文書の操作に必要な機能が用意されています。

### ナビゲーションパレットウィンドウの表示と非表示を切り替えるには：

ツールバーのナビゲーションパレットウィンドウの表示 / 非表示ボタン  をクリックするか、文書ウィンドウの左側の境界線をクリックします。

### パレットの表示と非表示を切り替えるには：

ウィンドウメニューからパレットを選択するか、左側のナビゲーションパレットウィンドウのタブ名をクリックします。現在表示されているパレットの名前の隣にはチェックマークが表示されます。パレットは前回表示されていたときと同じように、ナビゲーションパレットウィンドウ内またはフローティングウィンドウとして表示されます。

### ツールバーのツールを選択するには：

次のいずれかの操作を行います。

- 表示されているツールを選択するには、ツールをクリックするか、ツールのヒントに表示されている文字のキーを押します（ツールのヒントは、ポインタをツールの上に移動すると表示されます）。

- ・ 非表示のツールを選択するには、関連のツールか、その隣の三角形の上でマウスのボタンを押します。非表示になっていたツールが表示されたらそのまま選択したいツールまでドラッグします。



ツールが見つからないときは、ツールバーが非表示になっている可能性があります。非表示のツールバーを表示するには、ウィンドウ／ツールバーを選択してから、ツールバー名を選択します。ツールバー名の隣にあるチェックマークは、そのツールバーが表示されていることを表しています。

## ページの切り替え

ウィンドウの上部にあるツールバーおよびウィンドウの下部にあるステータスバーのボタンを使用すると、文書内の移動を素早く行えます。さらに、Acrobat Reader には PDF 文書の表示ページを切り替えるためのメニューコマンドおよびショートカットキーがあります。

### 別のページに移動するには：

次のいずれかの操作を行います。

- ・ 次のページに移動するには、ナビゲーションツールバーまたはステータスバーの次ページボタン  をクリックするか、文書／次ページを選択します。前のページに移動するには、前ページボタン  をクリックするか、文書／前ページを選択します。
- ・ 最初のページまたは最後のページに移動するには、ナビゲーションツールバーまたはステータスバーにある最初のページボタン  または最後のページボタン  をクリックするか、文書／開始ページまたは文書／最終ページを選択します。

### ページ番号を指定して移動するには：

次のいずれかの操作を行います。

- ・ 文書／ページ指定を選択し、ページ番号を入力し「OK」をクリックします。
- ・ 見たいページのページ番号が表示されるまで、ウィンドウの横にある垂直方向のスクロールバーをドラッグします。

## しおりを使用した移動

しおりは通常、文書内の章、節などの構成を表し、本の目次と似ています。PDF 文書の作成者によってしおりが追加されている場合、Acrobat Reader ウィンドウの左側のナビゲーションパレットウィンドウに表示されます。

### しおりを使用して PDF 文書内を移動するには：

**1** しおりパレットを表示します。しおりパレットを表示するには、ウィンドウ／しおりを表示を選択するか、「しおり」タブをクリックして一番手前に表示します。

**2** しおりに示されている項目に移動するには、しおりパレットでしおりのアイコンまたはテキストをクリックします。

**注意：**しおりをクリックしたときに、対応する項目に移動するのではなく他の動作が実行される場合があります。どのような動作が実行されるかは、しおりの定義方法によって異なります。

現在表示されている部分のしおりは、しおりパレット内でハイライト表示されます。

しおりをクリックしたときにしおりの一覧が消えた場合は、コマンドバーのナビゲーションパレットウィンドウの表示 / 非表示ボタン  をクリックして、一覧を再度表示します。しおりをクリックした後も、しおりパレットを常に開いたままにするには、しおりパレットの上部にあるしおりメニューをクリックして、「ジャンプ後に閉じる」の選択を解除します。

 文書ウィンドウに表示されている部分を示すしおりを選択するには、しおりパレットの上部にある現在のしおりを展開ボタン  をクリックします。親要素が閉じていて子要素が表示されていない場合は、親要素が開いて、選択された子要素を確認できます。

### サムネールを使用した移動

サムネールとは、文書の各ページにある小さなプレビューです。サムネールを使用して、ページの表示を変更したり、別のページに移動したりできます。

#### サムネールを使用して PDF 文書内を移動するには：

- 1 サムネールパレットを表示します。サムネールパレットを表示するには、ウィンドウ / サムネールを選択します。
- 2 別のページに移動するには、移動先のページのサムネールをクリックします。

### リンクを使用した移動

リンクを使用すると、文書の作成者が定義した特定の場所へ直接移動することができます。リンクによって同一文書内の別の場所へジャンプできるほか、他の電子ファイルや Web サイトへジャンプすることもできます。リンクは通常、タイトルの付いた節や見出しなどに設定されています。

#### リンクを使用して移動するには：

- 1 手のひらツール 、ズームツールまたは選択ツールのいずれかを選択します。
- 2 ページ内のリンクのある場所にポインタを置くと、ポインタが人差し指の形  に変わります（リンク先が Web 上の場合は、手にプラス記号が付きます）。リンクをクリックします。

**注意：**リンクをクリックすると、別の場所に移動せずに他の動作が実行される場合があります。どのような動作が実行されるかは、リンクの定義方法によって異なります。

### 今まで表示した画面を逆戻りする

文書間で表示を切り替えた後に、それまでの画面を逆にたどり、最初に表示した画面に戻ることができます。

#### 今まで表示した画面を逆戻りするには：

次のいずれかの操作を行います。

- 1 つの PDF 文書内で表示画面を逆戻りするには、ナビゲーションツールバーで前の画面ボタン  をクリックするか、文書 / 前ページを選択して、表示画面を 1 つずつ逆戻りします。または、次の画面ボタン  をクリックするか、文書 / 次ページを選択して、1 画面ずつ前に進めます。
- 他の PDF 文書に戻るには、文書 / 前の文書に移動を選択して 1 文書ずつ前に戻るか、文書 / 次の文書に移動を選択して 1 文書ずつ進みます。戻りたい PDF 文書が閉じていても、このコマンドで対象の PDF 文書が開きます。

## 拡大表示と縮小表示

ウィンドウよりも大きなサイズにページを拡大する必要がある場合にページの内容を見るには、手のひらツール  を使用してページを動かします。手のひらツールを使用して PDF ページを動かすのは、机の上で紙を手で動かすのと似ています。使用できる最小および最大表示倍率は、現在表示されているページのサイズによって異なります。

### 表示倍率を上げるには：

ズームインツール  を選択し、ページをクリックするか、拡大する範囲をドラッグします。ドラッグするにしたがって、選択範囲を示す点線のボックスが表示されます。

### 倍率を下げるには：

ズームアウトツール  を選択し、ページをクリックするか、またはドラッグして適切なページサイズを示す点線のボックスを描きます。

**注意：**ズームインツールを選択しているときに、Ctrl キー (Windows) または Option キー (Macintosh) を押しながらクリックまたはドラッグすると、ズームインではなく、ズームアウトできます。ズームアウトツールを選択しているときに、Ctrl キー (Windows) または Option キー (Macintosh) を押しながらクリックまたはドラッグすると、ズームインできます。

### ページをウィンドウに合わせて表示するには：

ページ全体がウィンドウ内に収まるようにするには、全体表示ボタン  をクリックするか、表示／全体表示を選択します。

### ページを実際の大きさに戻すには：

実際の大きさボタン  をクリックするか、表示／実際の大きさを選択します。通常、PDF ページでの実際の大きさの倍率は 100 %ですが、PDF 文書の作成時に別の表示倍率に設定することができます。

## ページのレイアウトと向きの設定

次の 3 種類のページレイアウトで PDF 文書を表示することができます。

**単一ページ** 一度に文書の 1 ページ分だけを表示します。

**連続** ページを縦に続けて表示します。

**見開きページ** ページを横に並べて表示します。複数ページが 2 ページずつ見開きの状態に並んで表示されます。見開きページとして表示するため、3 ページ以上の文書の場合は、1 ページ目は右側に表示されます。

### ページレイアウトを設定するには：

表示メニューから単一ページ、連続、見開きページのいずれかを選択します。

## eBook デバイス用に内容を折り返す

Acrobat Reader では、PDF 文書の内容を折り返すことができるので、eBook 読み取りデバイスなどのサイズが異なるデバイスでも内容を読みやすくすることができます。折り返し機能を正常に動作させるには、文書の作成者は文書を**構造化** PDF 文書として保存し、フローを作成する必要があります。構造化 PDF 文書は、文書ウィンドウに一度に表示できるだけの量で折り返されます。

## Adobe PDF 文書を折り返し表示するには：

Acrobat Reader のツールバーにある折り返しボタン  をクリックするか、または表示／折り返しを選択します。折り返していない状態のタグ付き Adobe PDF 文書の表示に戻るには、ツールバーにある実際の大きさボタン 、全体表示ボタン 、または幅に合わせるボタン  をクリックするか、表示メニューから対応するコマンドを選択します。

**注意：** ツールバーの折り返しボタンがグレーで表示されている場合は、現在の文書が構造化 PDF 文書ではないことを示しています。折り返し機能は利用できません。

## 全画面表示で文書を読む

全画面表示では、画面全体に PDF ページが表示されます。したがって、メニューバー、コマンドバー、ツールバー、ステータスバー、およびウィンドウコントロールは表示されません。

### 文書を全画面表示するには：

表示／全画面表示を選択します。次のページに進むには、文書中で Enter キー (Windows) または Return キー (Macintosh)、下向き矢印キー、または右向き矢印キーを押します。前のページに戻るには、文書中で Shift+Enter キー (Windows) または Shift+Return キー (Macintosh)、上向き矢印キー、または左向き矢印キーを押します。

### 全画面表示を終了するには：

全画面表示環境設定ダイアログボックスで「Esc キーで取り消し」が設定されている場合は、Esc キーを押します。そうでない場合は、Ctrl+L キー (Windows) または Command+L キー (Macintosh) を押します。

## PDF 文書の印刷

印刷ダイアログボックス (Windows) またはプリントダイアログボックス (Macintosh) で印刷するページの範囲を指定できます。このダイアログボックスを開く前に、連続していないページ (1、3、9 など) やページ内の特定領域を印刷するように指定することもできます。

### PDF 文書を印刷するには：

**1** 連続していない複数のページを選択したり、ページ内の特定領域を指定したりするには、印刷ダイアログボックス (Windows) またはプリントダイアログボックス (Macintosh) を開く前に、次のいずれかの操作を行います。

- 印刷するページを選択するには、サムネールパレットで印刷するページのサムネールをクリックします。連続していない複数のページを選択するには、Ctrl キー (Windows) または Command キー (Macintosh) を押しながらサムネールをクリックします。
- ページ内の印刷する領域を指定するには、グラフィック選択ツール  を使用し、ページ上をドラッグして印刷する領域を囲みます。

**2** 一般的な印刷オプションを設定するには、ファイル／ページ設定 (Windows) またはファイル／用紙設定 (Macintosh) を選択します。使用できるオプションは、プリンタやプリンタドライバによって異なります。詳しくは、プリンタドライバのマニュアルを参照してください。

**3** ファイル／印刷 (Windows) またはファイル／プリント (Macintosh) を選択します。

**4** プリンタ、印刷範囲、印刷部数などのオプションを指定して、「OK」をクリックします。印刷オプションについて詳しくは、フルバージョンの Acrobat Reader ヘルプを参照してください。

## よくある質問

この節では、Acrobat Reader についてのよくある質問とその回答をまとめてあります。知りたい内容が見つからない場合は、このヘルプファイル内を検索するかアドビ システムズ社の Web サイト ([www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)) をご覧ください。

**ツールバー上のいくつかのボタンやメニュー内のコマンドがグレーで表示されていて、使用できません。使用可能にするにはどうしたらいいですか？**

Acrobat Reader では、「注釈」および「電子署名」などのボタンやメニューコマンドにアクセスするには、PDF 文書に対する追加の使用権限が必要です。PDF 文書の作成者は、特定の機能の使用を制限することができます。例えば、PDF 文書の作成者がテキストのコピーを禁止した場合、「カット」、「コピー」および「ペースト」コマンドがグレー表示になります。

**オンラインでフォームに入力できません。**

PDF フォームをコンピュータ上で入力できるようにするには、PDF 文書の作成者は Adobe Acrobat 5.0 でフォームを設定する際に正しいツールを使う必要があります。問題を解決するには、PDF 文書の作成者に連絡してください。

**PDF 文書にテキストを追加できません。**

Acrobat Reader は本来、PDF 文書の表示および印刷のための読み取り専用のアプリケーションです。PDF 文書の作成または編集を行いたい場合は、Adobe Acrobat にアップグレードすることをお勧めします。詳しくは、ヘルプ / Adobe Acrobat のご購入またはヘルプ / Adobe Acrobat の説明を選択してください。

**テキスト選択ツール  を使ってテキスト上をドラッグしてもテキストが選択されません。なぜ選択されないのですか？**

PDF 文書がスキャナを使って作成されているか、またはテキストが画像の一部である場合、Acrobat Reader はそのようなテキストを選択したり検索したりできません。文書が Acrobat の「Paper Capture」コマンドを使用して画像からテキストに変換されたものであるかどうか、文書の作成者に問い合わせてください。

**2 コラムの文書内のテキストをドラッグで選択するときに、両方の列のテキストが選択されてしまいます。片方のコラムのテキストを選択するにはどうしたらいいですか？**

文書の作成時に PDF ファイルの構造化が適切に行われていないと、Acrobat Reader では、テキストのフローを正しく解釈することができません。この場合、テキスト選択ツールの隣にあるドロップダウンリストから範囲選択ツール  を選択し、選択したいコラムのテキストをドラッグします。

**PDF 文書内のテキストが画面上と同じように印刷できません。**

使用されているフォントがビットマップであるか、または文書内でフォントの埋め込みが制限されているため、いくつかのフォントをプリンタにダウンロードできないためです。このような場合は、置換フォントを使用して印刷されるので、印刷結果と画面表示が完全に一致しない場合があります。別のプリンタでの印刷をお試しになるか、PDF 文書の作成者にフォントが埋め込まれた PDF 文書を送ってもらうよう問い合わせてください。

**PDF 文書がずれて印刷されます。**

ご使用のプリンタが PostScript プリンタではない場合、印刷時にページがずれる場合があります。正しく印刷するには PostScript プリンタを使用してください。

## **PDF 文書を印刷できません。**

まず、他の PDF 文書の印刷をお試しく下さい。他の PDF 文書を印刷できる場合は、印刷できない PDF 文書が壊れている可能性があります。文書の作成者に連絡してください。または、PDF 文書の作成者によって文書へのアクセスが禁止されているため印刷できない可能性があります。ファイル／文書のセキュリティを選択し、印刷が許可されているかどうかを確認してください。Acrobat Reader でどの文書も印刷できない場合は、他のアプリケーションで印刷できるか試してください。印刷に関する問題のトラブルシューティングについて詳しくは、アドビ システムズ社の Web サイトを参照してください。

# 法律上の注意

---

## 著作権情報

© 2002 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe® Acrobat® Reader 5.1 ユーザガイド (Windows® / Macintosh® 版)

本マニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアは、エンドユーザ使用許諾契約にもとづいて提供されるものであり、当該エンドユーザ使用許諾契約の契約条件に従ってのみ、使用または複製することが可能となるものです。本マニュアルに記載される内容は、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として、提供されるものであり、従って、当該情報が、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の責務として解釈されることがあってはなりません。アドビシステムズ社は、本マニュアルにおけるいかなる誤謬または不正確な記述に対しても、なんら責任または補償を負うものではありません。当該エンドユーザ使用許諾契約により許可されている場合を除き、本マニュアルのいかなる部分といえども、アドビシステムズ社の書面による事前の許可なしに、電子的、機械的、録音、その他いかなる形式・手段であれ、複製、検索システムへの保存、または伝送を行うことはできません。

新しいアートワークを創作するためにテンプレートとして取り込もうとする既存のアートワークまたは画像は、著作権法により保護され得るものであることをご留意ください。当該アートワークまたは画像を新しいアートワークに許可なく取り込んだ場合、著作権者の権利を侵害することになります。従って、著作権者から必要なすべての許可を必ず取りつけてください。

例として使用されている会社名は、実在の会社・組織を示すものではありません。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat Catalog、Acrobat Distiller、Acrobat Reader、Acrobat Search、Adobe Type Manager、ATM、FrameMaker、Illustrator、ImageReady、InDesign、PageMaker、Photoshop、および PostScript は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。ActiveX、Microsoft、Windows、および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Apple、ColorSync、Mac、Macintosh、Power Macintosh、QuickTime、および TrueType は、米国およびその他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。QuickTime および QuickTime ロゴは Apple Computer, Inc. の商標であり許諾を受けて使用しています。Pentium は、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。Java、Java Applet、および JavaScript は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。Palm OS は Palm, Inc の登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

Apple Information Access Toolkit ソフトウェアが付属しています。このソフトウェアは一部、Independent JPEG Group の作品に基づいています。THE PROXIMITY/MERRIAM WEBSTER DATABASE© 1984, 1990 Merriam-Webster Inc. © 1984, 1990, 1993 - All rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /FRANKLIN ELECTRONIC PUBLISHERS INC.- DATABASE © 1994 Franklin Electronic Publishers Inc. © 1994, 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY / MERRIAM WEBSTER INC./ FRANKLIN ELECTRONIC PUBLISHERS INC. DATABASE © 1990/1994 Merriam-Webster Inc./Franklin Electronic Publishers Inc. © 1994, 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY / WILLIAM COLLINS SONS & CO. LTD. DATABASE © 1984, 1990 William Collins Sons & Co. Ltd. © 1988, 1990, 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /Dr. LLUIS DE YZAGUIRRE I MAURA DATABASE © 1991 Dr, Lluís de Yzaguirre i Maura © 1991 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY / MUNKSGAARD INTERNATIONAL PUBLISHERS LTD. DATABASE © 1990 Munksgaard International Publishers Ltd. © 1990 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY / VAN DALE LEXICOGRAPHIE BV DATABASE © 1990,

1995, 1997 Van Dale Lexicografie bv © 1990, 1996, 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /IDE A.S. DATABASE © 1989, 1990 IDE a.s. © 1989, 1990 - All rights Reserved Proximity Technology Inc THE PROXIMITY /HACHETTE DATABASE © 1992 Hachette © 1992 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /EDITIONS FERNAND NATHAN DATABASE © 1984 Editions Fernand Nathan © 1989 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /TEXT & SATZ DATENTECHNIK DATABASE © 1991 Text & Satz Datentechnik © 1991 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/ BERTLESMANN LEXICON VERLANG DATABASE © 1997 Bertlesmann Lexicon Verlang © 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/WILLIAM COLLINGS SONS & CO. LTD./ BERTLESMANN LEXICON VERLANG DATABASE © 1986/1997 William Collins Sons & Co. Ltd./ Bertlsmann Lexicon Verlang © 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/ S. FISCHER VERLAG DATABASE © 1983 S. Fischer Verlag © 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/ ZANICHELLI DATABASE © 1989 Zanichelli © 1989 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/MORPHOLOGIC INC. DATABASE © 1997 Morphologic Inc. © 1997 - All Rights Reserved Proximity technology Inc. THE PROXIMITY/ RUSSICON COMPANY LTD. DATABASE © 1993-1995 Russicon Company Ltd. © 1995 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/ESPASSA-CALPE DATABASE © 1990 Espassa-Calpe © 1990 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/C.A. STROMBERG AB DATABASE © 1989 C.A. Stromberg AB © 1989 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc

TWAIN Toolkit は現状有姿で提供されています。TWAIN Toolkit の開発者およびディストリビュータは、商品性の黙示保証、第三者の権利に対する非侵害性保証および特定目的への適合性への保証を含み、それに限定されないいかなる明示・黙示・制定法上の保証も行いません。また、開発業者、ディストリビュータいずれも、TWAIN Toolkit の複製、修正、提供、またはその他使用の結果として生じる、直接的、間接的、特別な、付随的、派生的損害に対しても、責任を負いません。

Adobe Acrobat の機能の一部に Verity, Inc. にライセンスされているテクノロジーが使用されています。

本製品は、米国特許番号 4,558,302 のライセンスが付与された LZW アルゴリズムを使用しています。

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA

米国政府機関のエンドユーザへの制限：本ソフトウェアおよびマニュアルは、48 C.F.R. §2.101 によって既定されている「商品」であり、48 C.F.R. §12.212 または 48 C.F.R. §227.7202 で使用されている「商業用コンピュータソフトウェア」および「商業用コンピュータソフトウェアマニュアル」によって構成されています。商業用コンピュータソフトウェアおよび商業用コンピュータソフトウェアマニュアルは、48 C.F.R. §12.212 または 48 C.F.R. §§227.7202-1 乃至 227.7202-4 に従い、米国政府機関のエンドユーザに (A) 商品のみとして、および (B) 本ソフトウェアに関するアドビ システムズ社の標準の契約書に従って、他のすべてのエンドユーザに付与される権利のみ使用許諾されます。明示されていない権利は、米国著作権法によって保護されています。